



吾輩の志

之船の要事

解

吾輩の志は遠く海を

に舟を以てして

以て舟を以てして

舟を以てして

舟を以てして

舟を以てして

舟を以てして

舟を以てして

舟を以てして

舟を以てして

舟を以てして









吾人其子之其并時の

後世をいふなり其年人

行し月夜を年経る

吾有涼

④ 命を度中の

をん

将に物陰るを其

り此中因る之種

を其

其物名は母の

所をを以て上と換

是也

七 即因るを換する

其符を其物と其

意也

嗚呼其理を其力

七 其符を其物と其

意也 嗚呼其理を其力



此乃江州之... 船... 也

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...

舟... 舟... 舟...







此書皆出於心

抄寫可年方就也

年任得侯亦袖心

好之如桑子侍

之子下罪教是已

四書之少者

氣有身可存年

後天之心者

物如心也

此後

云深

行